

日本ESD学会ニュースレター第2号

2018年5月10日

編集発行：日本ESD学会事務局

〒630-8528 奈良県奈良市高畑町 奈良教育大学次世代教員養成センター 中澤静男研究室

TEL/FAX:0742-27-9269 E-mail: jsesd.office@gmail.com Website: <http://jsesd.xsrv.jp/>

目次

日本ESD学会第1回大会に多数の参加を	1
役員選挙	2
特別企画シンポジウム	2
第1回大会・総会	2-3
地方研究会	3-5
お知らせ	5

日本ESD学会第1回大会に多数の参加を

会長 長友恒人

来る8月18、19日に日本ESD学会第1回大会が奈良教育大学（奈良市）で開催されます。本学会は、「ESD（持続可能な開発のための教育）の理論的・実践的研究およびESD実践の深化・発展を図ることをもって、持続可能な社会の構築に資することを目的」（会則第2条）としています。大会は、「ESDの理論的・実践的研究」を可視化し、コミュニケーションによって深める場です。

学会が発足した2017年度は国連大学のサステイナビリティ高等研究所との共催事業として年度末の3月3日に特別企画シンポジウム「ESDとSDGs」を開催し、ESDの実践と研究の有機的連携の重要性を共有しました。また、中国地方研究大会（岡山）と近畿地方研究会（奈良）を会員の協力により開催することができ、いずれも好評を博しました。

「ESD実践の情報交換」は、全国規模の「ユネスコスクール全国大会」をはじめとして様々な取り組みがなされ、交流を通してESD実践のレベルを向上させる一助となってきました。しかし、実践の交流だけではその質を高めることに限界があることも経験的に明らかです。8月の第1回大会は全国規模の研究会として会員が発表し、交流をする学会設立後初めての機会になります。

ところで、ESDの「理論的研究」とは何でしょうか。「実践的研究」とは何でしょうか。実践と切り結んだ理論的研究とは何でしょうか。思考・意識の変革にとどまらず、行動の変容を目指すESDの特性からはESD研究の成果が実践の質を高めるものであることが求められますが、そのためのESD研究の在り方はどうあるべきでしょうか？ 内容はどうなのでしょう？ 私は、このような課題意識を持ちながら、第1回大会での発表・ディスカッション・交流を心待ちにしています。

全国から多数のみなさまが誘い合って世界遺産の古都奈良に集われんことを願っています。

I 第2期役員選挙について

学会員のみならず、第2期役員選挙に関わり、候補者の推薦や投票等、ご協力賜りありがとうございました。市川智史選挙管理委員会委員長のもと、3月21日に開票作業を行いました結果をご報告いたします。任期は、2018年8月の総会から2年間です。

有効投票数 133 票、無効票 0 票

会長：長友恒人

会計監査（2名）：柴尾智子、安田昌則

評議員（25名）：

浅井孝司、阿部治、市瀬智紀、岩本渉、及川幸彦、大西浩明、加藤久雄、川田力、木曾功、
河野晋也、小金澤孝昭、小澤紀美子、佐藤真久、重政子、鈴木克徳、棚橋乾、田淵五十生、
手島利夫、中澤静男、永田佳之、西口美佐子、福井昌平、見上一幸、三隅佳子、米田伸次
(あいうえお順)

第2期選挙管理委員会

委員長 市川智志

委員 上野浩文、大澤厚美、清野未恵子、河本大地、中西一成 (あいうえお順)

II 日本ESD学会特別企画シンポジウムを開催

2018年3月3日に国連大学サステナビリティ高等研究所との共催で、「SDGsとESD」特別企画シンポジウム「ESDの実践と研究の有機的連携にむけて」を東京渋谷の国連大学ウ・タント国際会議場で開催しました。詳細については、学会ウェブサイトでご報告いたします。

III 第1回大会・総会

昨年度の学会設立から一年を経過し、第一回大会及び総会を下記の通り実施することとなりました。研究者、幼・小・中・高等学校教員、企業や団体など全国から様々なステークホルダーがそれぞれの研究や実践を報告いたします。会員の皆様はもとより、学会未加入の方々もお誘いあわせの上、多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

期日：2018年8月18日（土）・19日（日）

会場：奈良教育大学（奈良市高畑町）

第1日目 8月18日（土）

12時00分～13時00分 受付

13時00分～13時10分 開会行事

13時20分～17時05分 研究発表（口頭発表・ポスター発表）

17時40分～19時40分 懇親会(大学生協食堂)

※ 15時00分～15時30分がポスター発表コアタイムです。

第2日目 8月19日（日）

08時30分～09時00分 受付

09時00分～11時00分 研究発表（口頭発表・ポスター発表）

11時10分～13時30分 ランチタイム

(11時10分～12時30分 学会総会)

13時30分～15時30分 ワークショップ

15時40分～16時20分 ワークショップ報告会・閉会行事

- ※ ランチタイムに、ブース出展者によるプレゼンを予定しています。
- ※ 第2日目11時10分からの総会には、正会員及び団体会員代表者が参加してください。
正会員及び団体会員代表者は8月10日までに同封のはがきで出欠をお知らせください。

IV 地方研究大会

日本ESD学会は原則として1年に1回の大会（全国規模の研究大会）を開催することとしていますが、遠方から宿泊を伴う大会に参加することが困難な会員も少なくないと考えられます。そのことを考慮して、全国規模の大会とは別に、日帰りで参加できる地域的な研究会を各地で開催することを企画いたしました。2017年度は、中国地方研究大会（岡山）と近畿地方研究会（奈良）を開催しました。以下は、その概要の紹介です。

（1）中国地方研究大会の報告

2017年12月10日（日）に、岡山大学大学院教育学研究科ESD研究会との共催で、岡山大学教育学部講義棟にて中国地方研究大会を開催しました。内容は、一般研究発表9件とラウンドテーブル1件でした。発表者と発表タイトルは以下のとおりです。

① 一般研究発表

末澤奈津子（神戸大・院）：高等学校英語教科書におけるESDを視座にした題材研究

森田育志（神戸大学附属中等教育学校）：SDGs達成に資するESDの授業実践のあり方

和田文雄（岡山大）：ESDとしての高校地理の学習内容について

坂本清美（ホシザキ京阪（株））：大学を核とした教科横断型プログラム開発と地域への広がり

藤井浩樹（岡山大）：岡山大学が進めるESD教師教育の国際研究拠点の構築

西井麻美（ノートルダム清心女子大）：地域と人とのつながりを結ぶ「ストーリー」を活用するESD

佐々木哲弥（多摩市立多摩第二小学校）：小学校理科教育におけるSDGsの実践報告

手島利夫・黄地健夫（江東区立八名川小学校）：誰ひとり取り残さない教育への挑戦

岡本弥彦（岡山理科大）・五島政一（国立教育政策研究所）・佐藤真久（東京都大）

：地球システムを学ぶ上での「持続可能な社会づくりの構成概念」の位置付け

② ラウンドテーブル『ESD研究に未来はあるのか？』

話題提供：卜部匡司（広島市立大） 進行：川田 力（岡山大）

日本ESD学会として、初めての地方研究大会となったこともあり、開催1ヶ月半前の告知にもかかわらず、企画運営側の予想を超える反響があり、こうした研究集会に対して多くの会員が期待を寄せられていることを強く実感しました。数名の会員の皆様には満員に付き発表をお断りする事態となってしまいましたこと、紙面をお借りしてあらためてお詫びいたします。

当日は、長友会長をはじめ中国地方のみならず、関東地方・近畿地方など、遠方からの発表者・参加者も含め、計45名の参加がありました。

一般研究発表は、発表者の所属も多様で、内容も教育実践研究、理論的研究などバリエーションがあり、参加された会員からはご好評いただきました。ラウンドテーブルでは『ESD研究に未来はあるのか？』という、やや刺激的なタイトルを掲げ、卜部会員によるESD研究の研究対象、方法などに関する話題提供をもとに、参加者で議論をいたしました。様々な立場からの議論が展開しましたが、時間が限られていたこともあり、議論が収束するにはいたりませんでした。こうした中「ESD研究なしに未来はあるのか？」という発言もあり、学会としてさらに有益なESD研究を進めるべく継続的な議論が必要だと感じています。

全体として、プログラムに時間的余裕がなかったことや、会員同士の交流の機会がなかったことなど次回の開催に向けて改善すべき点も判明いたしましたので、中国地方在住の会員と連携して、継続的な開催を模索したいと思います。（川田・岡山大）

(2) 近畿地方研究会の報告

開催日時：2018年2月12日（月・祝）12時30分～17時00分

会場：奈良教育大学

参加者数：90名

近畿地方を中心に全国から教員・地域での実践家・研究者が出会い、互いの取組や研究に学び、新たな協働取組が生起する事を期待して、メインテーマに「持続可能な社会に向けての歴史文化遺産教育の創造」を掲げ、研究会を開催しました。奈良大学名誉教授西山要一氏（文化財保存科学）による「世界遺産から学ぶ歴史と文化そして未来社会の創造」をテーマとした記念講演の他、26本の口頭発表、5本のポスター発表があり、充実した研究会となりました。

記念講演の概要

「世界遺産から学ぶ歴史と文化、そして未来社会の創造」 講師：奈良大学名誉教授 西山 要一 氏

◇世界遺産から学ぶ

現在、世界には1073件の世界遺産があります。その中には、われわれ日本人から見て「こんなものも世界遺産になるのか」というものもありますが、その地域に住んでいる人たち、国にとっては、それぞれが重要なものだということはありません。日本人がその重要性に気が付いていないだけです。世界遺産に登録されることで、「こういうものもあるのか」「こういう文化をもっている人たちもいるのか」ということを理解していくことは大切ですし、文化・芸術などは多様であり、それを認め合いながら未来社会を創っていくというのが世界遺産の大きな目的でもあります。



◇世界遺産条約の意義

1954年のハーグ条約、1970年の文化財不法輸出入等禁止条約は、戦争の時に文化財を守ろうという条約ですが、戦争が起こってからではなく、常日頃から世界の文化財を守ろうという地盤をつくっていくという動きが世界遺産条約になっていきました。

◇世界遺産の多様性

世界遺産には世界文化遺産、世界自然遺産、複合遺産の3種類があり、それらは人類の文化や歴史の遺産として素晴らしいものでありますが、我々の歴史の中で反省すべきこともあり、そういうものも世界遺産として登録しています。いわゆる負の遺産です。ポーランドのアウシュビッツ強制収容所、広島平和記念碑、セネガルのゴレ島の黒人奴隷の集積所などは、将来世界がどのように生きていくべきなのか、どういう社会をつくっていくべきなのかというときに、二度と繰り返さないために残しておくべきであろうという考え方のもとに世界遺産に登録されています。また、紛争などが原因で、危機に瀕する遺産もあります。現在、エルサレムの旧市街とその城壁群、アフガニスタンのバーミヤンの石窟寺院、シリアの4つの世界遺産など、55件が危機遺産に登録されています。一方、カンボジアのアンコールワットのように危機遺産リストから除外され、普通の世界遺産に戻ったものもあります。また、ドイツのドレスデンのエルベ渓谷やオマーンのアラビアオリックスの保護区のように、世界遺産登録から抹消された事例もあります。

私は30年間にわたって大気汚染の調査をしています。8月に行われる大仏様のお身ぬぐいの際に集められたほこりを頂戴して分析していますが、その中に硫酸化物や塩化物イオンなど大気汚染の中でも特に文化財に影響の大きな酸性物質が埃の中に含まれているということがわかってきました。幸いなことに毎年お身ぬぐいが、錆の原因となる埃を全部取り払っていることとなります。世界遺産を守る、文化財を守るといっても、特段の大きな道具がいるというわけではなく、われわれの身

近なところで、できる方法で守っていけばいいと思っています。(文責：中澤静男)

※記念講演全文及び研究発表タイトル等を学会ウェブサイトに掲載しています。そちらもご覧ください。

V. お知らせ

(1) 2018年度学会費を日本ESD学会ゆうちょ銀行振替口座に振り込んでください(振込用紙を本ニュースレターに同封しています)。2017年度会費未納の方は、あわせて振り込みをお願いします。

※8月の総会・研究大会に参加するには、7月末までに2018年度学会費を納入していただくことが必須です。

正会員：5,000円、 学生会員 3,000円、 団体会員 20,000円

①郵便局・ゆうちょ銀行ATMからのお振り込み ※振込用紙を使用される場合

【口座記号・番号】 00960-5-0311266

【口座名称】 日本ESD学会(ニホンイーエスディーガッカイ)

②その他金融機関からのお振り込み

【銀行名】 ゆうちょ銀行

【店名】 099(読み ゼロキユウキユウ)

【店番】 099

【預金種目】 当座

【口座番号】 0311266

【口座名称】 日本ESD学会(ニホンイーエスディーガッカイ)

※このゆうちょ銀行口座は会費振り込み専用です。大会参加費等は、第3報でご確認ください。

(2) 会員情報の変更など

2018年度となり、住所、メールアドレス、所属など会員情報に変更がございましたら、日本ESD学会事務局までご連絡ください。

日本ESD学会事務局アドレス jsesd.office@gmail.com

(3) 後援や広報に関して

ESDに関する研究会等の開催を予定されている方々、日本ESD学会の後援やウェブサイトでの広報を希望される場合は、日本ESD学会事務局までご連絡ください。

日本ESD学会事務局アドレス jsesd.office@gmail.com

(4) 地方研究会の開催

2017年度は、12月に中国地方研究大会、2月に近畿地方研究会が開催されました。特に、現職教員や各地でESDに関わっておられる会員の方々の研究発表の機会や研修の機会として、地方研究会の開催を歓迎します。開催を計画されている方は、日本ESD学会事務局までご相談ください。

日本ESD学会事務局アドレス jsesd.office@gmail.com